

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月20日		記入者		連絡先	2632
平成18年度部名	保健福祉部		課名	介護予防推進室		課長名 佐藤浩三
平成19年度部名	保険高齢部		課名	介護予防推進課		課長名 佐藤浩三
事務事業名	認知症高齢者見守り事業					
予算上の事務事業名	認知症高齢者見守り事業					
1 総合計画における位置づけ				施策コード	11210	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります					
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造					
施策名	第1施策 地域ケアサービスの充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	介護保険法、地域支援事業実施要綱(国) 徘徊高齢者等検索サービス事業実施要綱、徘徊高齢者等SOSネットワークシステム運営事業実施要					
3 個別計画の概要	概要					
計画名	第3期高齢者保健福祉計画					
計画年次	平成18	年度～	平成20	年度		
4 事業形態の区分	サービス提供			5 事業開始年度	平成11年度	
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果) (2) 対象(誰、何)					
徘徊高齢者等の事故を未然に防止するとともに、介護している家族の身体的、精神的負担の軽減を図る。				60歳以上の在宅の者で、要介護・要支援認定を受け、認知症による徘徊の常習があると認められる者等		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
徘徊高齢者等検索サービス事業 認知症高齢者等に小型の端末機を携帯してもらい、万一、徘徊により行方がわからなくなった際に、居場所を特定し、家族等に知らせるサービスを実施した。 徘徊高齢者等SOSネットワークシステム運営事業 認知症高齢者等の情報を事前登録し、行方がわからなくなった場合に、関係機関の協力による早期発見を支援するサービスを実施した。						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移	[単位：千円]					
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	1,646	1,552	1,405	2,327	2,327	
一般財源	825	777	0	0	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	821	775	1,405	2,327	2,327	
人件費の合計	404	403	403	403	403	
事業コスト合計	2,050	1,955	1,808	2,730	2,730	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	徘徊高齢者等検索サービス事業			対象名称 と単位	登録者数	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	1,654	1,619	1,392	2,194	2,194	
対 象 数	31	26	24	42	45	
単位あたり経費(円)	53,355	62,269	58,000	52,238	48,756	
前 年 度 比		1.17	0.93	0.90	0.93	

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	徘徊高齢者等SOSネットワークシステム登録者数の対前年度比	指標式と指標の説明	本年度登録者数 / 前年度登録者数 × 100 登録数の伸び率の状況		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	126.2	119.5	104.1		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	126.2	119.5	104.1		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	徘徊高齢者等SOSネットワークシステム登録者数の対前年度比	指標式と指標の説明	本年度登録者数 / 前年度登録者数 × 100 登録数の伸び率の状況		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	126.2	119.5	104.1		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	126.2	119.5	104.1		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業				
	[]：概ね良好な状況である事業				
	[]：見直しを行う必要がある事業				
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		今後、認知症高齢者が増えていく中で、本事業は公益性や有益性が高く、引き続き実施していくべき事業である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
徘徊による認知症高齢者の早期発見に資するため、関係機関とのネットワークの強化を図る。			現在利用者に携帯させている小型端末機の使用が、平成19年秋で中止となるため、その代替方を検討する必要がある。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			